

会 議 録

会議の名称	令和6年度第3回御宿町地域公共交通活性化協議会	
開催日時	令和7年1月27日（月）14時00分 開会 15時00分 閉会	
開催場所	御宿町役場 中会議室	
会長氏名	御宿町長 原 宏	
出席者氏名 (8名)	<ul style="list-style-type: none"> ・御宿町長 ・小湊鉄道株式会社バス部部长 ・住民又は利用者の代表 ・国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局運輸企画専門官 ・小湊鉄道労働組合書記長 ・夷隅土木事務所所長 ・いすみ警察署交通課長 ・千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長 	<ul style="list-style-type: none"> 原 宏 委員 (代)小関 拓実 様 堀川 賢治 委員 (代)松澤 純 様 清水 崇志 委員 宮下 直也 委員 坂井 陽一 委員 (代)山崎 乙濃 様
欠席者氏名 (3名)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人千葉県タクシー協会理事 松本 眞 委員 ・一般社団法人千葉県バス協会専務理事 成田 斉 委員 ・JR東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長 小口 宗昭 委員 	
事務局氏名	御宿町企画財政課	課長 埋田 禎久 課長補佐 柴原 進一
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助）の事業評価について 4. 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域公共交通計画における実施事業の進捗について 5. その他 6. 閉会 	

<議事要旨>

事務局

令和6年度第3回御宿町地域公共交通活性化協議会を開催します。

はじめに、原会長よりご挨拶申し上げます。

会長

今日は、第3回御宿町地域公共交通活性化協議会にご出席いただきありがとうございます。昨年12月に町長に就任いたしました原でございます。よろしくお願いいたします。

本日の議題は、「令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」を。また、報告として、「地域公共交通計画における実施事業の進捗について」となっておりますのでよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。本日の出欠席の委員は、名簿のとおりです。

会議は委員の半数の出席がありますので成立しております。

資料は、事前に配布しているとおりです。

○資料1 令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価

○資料1-2 事業実施と地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画との関連について

○資料2 ポンチ絵のほか 関連資料 2-1、2-2

○資料3 御宿町乗合運行の利用状況について

○資料4 地域公共交通計画の評価等進捗について となっております。

資料の不足がありますでしょうか？

それでは、交通会議の運営は、原会長が議長でございます。これより進行は会長にお願いします。よろしくお願いいたします。

会長

それでは、議題(1)令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価についてを事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、議題(1)令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価についてを説明させていただきます。本件は、令和6年度(R5.10月~R6.9月)のエビアミー号の運行に係る国の補助金(地域公共交通確保維持改善事業)の事業

評価についてご協議いただくものです。

資料1をご覧ください。令和6年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価ですが、事業概要から説明しますと、本事業は、町内全域をカバーする乗合運行を地域内フィーダー系統確保維持事業として、平成26年10月1日から実施しております。ルートを定めず、運行エリア内を乗合で移動するもので、事前予約型・町内全域乗合タクシーとして運行しているものです。

表中③の前回事業評価の反映状況ということですが、乗合運行の利用を促進するため、御宿広報で事業の周知を行ったこともあって、利用者数は令和5年度と比べ大幅な伸びをみせました。

表中④の事業実施の適切性ですが、計画どおり適切に実施され、表中⑤の目標・効果達成状況も目標利用者5,400人に対し実績6,157人(+757人)。目標収入1,620,000円に対しても実績1,778,500円(+158,500円)となっております。

表中⑥の改善点ですが、3つ項目をあげています。1つ目は、利用者には乗合運行という特性を理解いただき、タクシーサービスも併用するなかで、生活に密着した満足度の高いサービスを実施していくこと。2つ目は、利用者が増加傾向にあるため、運行調整で対応できない場合は車両増設を検討する必要があること。3つ目は、利便性向上に向けたキャッシュレス決済等にも対応した環境を段階的に整える必要があることです。

資料2をご覧ください。こちらは国に提出しますポンチ絵となっております。現況や課題、目標のほかアピールポイント等をわかりやすくまとめたものです。資料2-1は、町内の公共交通の状況をまとめたものです。資料2-2は半島振興地域のエリアを示したものです。資料3は、乗合運行の利用状況についてまとめたものです。前段の説明と重複するところがありますので説明は省略しますが、事業概要とこれまでの取組みをまとめたものです。

2 運行当初からの年間利用者数と運賃収入の推移ですが、平成27年度（平成26年10月）から事業を開始し、利用者数は年間4千人台で推移しておりました。コロナにより落ち込んだものの徐々に回復し、令和5年度は5千人台に、令和6年度は6千人を超えた状況となっております。

次のページは、令和5年度補助事業と令和6年度補助事業とを比較したものです。利用者数の実績ベースだと年間プラス626人の増加となっております。資料の説明は以上です。

会長

ありがとうございました。ただいま議題 1 に関し説明がありましたが、何かご質問等ございますか。

委員

エビアミー号の運行経費はどのくらいですか

事務局

今年度は約 12,000 千円です。

委員

運賃収入は、約 1,800 千円となっていますが、国の補助はどのくらいですか。

事務局

年度にもよりますが、約 2,000 千円です。

委員

運賃収入と補助金をあわせて約 4,000 千円の収入で、経費との差額は一般財源ということですね。利用者を増やすことで補助金の増額は可能でしょうか。

事務局

この補助金は、国の予算の範囲内で一定の計算式で算定されるため、利用者の増加により補助金が増加することはないと思います。

委員

御宿町は高齢者が多い町です。御宿駅はこ線橋を渡らないといけないので高齢者は使えない状況にあります。なんらかの対策を図らないといけないと思います。

会長

勝浦-御宿間の路線バスがなくなり、勝浦市からデマンドタクシーが来て解消されていますが、大原にむけての交通手段の確保も必要ではないかと思っています。取組みを進めないといけない課題だと考えています。

委員

エビアミー号の利用者はこれからも増えると思いますが、町外に行く場合、駅

から電車を使ったほうが安く移動できるわけです。高齢者が多い御宿町では駅バリアフリー対策が必要じゃないのかなと、住民代表として皆さんからの声が入ってきていますので申しあげておきます。

会長

他に乗車すればいいというわけにはいきませんし、エビアミー号はいま1台で運行していて労働時間の規制とか長時間の労働というわけにもいかない、いろいろと考えなくてはいけないと思っています。私は、いろいろなことについて対話して決めていこうとしていますので、各委員の皆さまにもお願いしまして、考えていきますので、いまの課題も含めてよろしく願いいたします。

会長

他にございますか。ないようですので、議題（1）はご承認いただきました。続きまして、次第4の報告にうつります。地域公共交通計画における実施事業の進捗について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、資料4の地域公共交通計画の評価等進捗についてご説明します。はじめに、JR御宿駅の乗降客数ですが、コロナウイルス感染症以前までは回復していませんが、前年度比較で見ますと3.8%増加しており、順調に推移すれば目標達成の見込みです。人口減少や働き方の変化などにより鉄道利用に係る課題はありますが、利用者増加に向けた取組みを関係団体等と連携を図っていく中で鉄道ネットワークの維持・活性化に向けた取組みを進めていきたいと考えています。

次に、高速バスの維持・サービスの見直しですが、乗降客数をみますと、こちらもコロナウイルス感染症前までは回復していませんが、前年度比較では10.7%増加しており、目標を達成しています。

高速バスの利便性向上に向けては、大多喜町、市原市、勝浦市、御宿町、鴨川市の連名によりバス事業者に勝浦～東京線高速バス利便性向上に係る要望書を提出しており、回答を待っているところです。

エビアミー号については議案でご説明したところですが、乗降客数は目標を達成しました。1日15人程度の利用で推移すると見込んでおりましたが、利用者の増加に伴い予約時に運行を調整する状況にあります。特に午前中の便に集

中することが多くなっていることから、その対応策について事業者と調整する必要があります。

勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗入れですが、令和6年10月から勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗入れを開始しています。御宿町内の乗降場所は10か所で、主に御宿駅周辺のほか国道沿いに集中していますので、今後は状況に応じて乗降場所の増設についてを勝浦市と協議したいと考えています。

次に、タクシー事業の維持・利用促進についてですが、御宿駅を待機場所として2台が配車されています。利用者の個別ニーズに柔軟に対応できるため、乗合運行事業とは競合していないと考えています。町内移動は10分～15分程度で対応できているため、利用者の待ち時間の負担は少ない状況です。現在、22時まで駅前待機しています。

また、町では、エビアミー号を利用した方が帰りにタクシーを利用した場合、料金の半額（500円上限）を補助するお出かけ支援事業を実施しています。一定の利用率で推移しており、タクシーの利用促進につながっています。

次に、交通結節点の整備ですが、他交通と接続する場所として、施設内で待機できる御宿駅と公民館を設定しております。乗合運行エビアミー号の共通乗降場所にもなっているほか、乗降スペースも広く安全性も確保できているため、スムーズな乗継ぎと利用しやすい環境づくりに向け検討を進めたいと思います。

御宿駅のバリアフリー化の推進と情報発信の強化、DXの検討についてですが、御宿駅バリアフリー化については、引き続きJR千葉支社と協議調整を図ることとしています。

情報発信の強化、DXの検討ですが、JR東日本千葉支社による「まるごとわかしおMAAS」と連携を図りました。これは、外房エリア観光周遊の利便性向上を目的に沿線企業や自治体等と連携しながら地域・観光型MAASとって複数の交通手段を予約決済できるサービスのことです。継続的な取組みとして定着させ、夷隅エリア全体の活性化につなげることを重要だと考えています。

次に商業や観光と連携した利用促進策の検討及び福祉分野との連携についてですが、ほかの分野や産業との連携による利用促進ということで、勝浦と御宿の連携事業「ひな祭り事業」を継続的に実施しています。今年2月22日から3月3日までの期間に実施されますが、JRの駅からハイキングや臨時列車運行なども合わせた取組みとして成果をあげている取組みとなっています。

次にモビリティ・マネジメントの検討・実施です。エビアミー号を利用するための事前登録は、今まで窓口による申請書の提出となっていたが、今年度から、ちば電子システムからの登録や電話などでも受け付けることにしました。

また、JR の切符購入アプリえきねっとの利用・登録相談会を町公民館で随時実施しております。

運転手不足への対応については、引き続き交通事業者と情報を共有しながら求人活動における支援を行うこととしています。

地域住民主体による移動手段の検討については、具体的な検討は行っていませんが、近隣自治体の動向や先進事例の調査研究を行っていきます。

説明は以上です。

会長

ありがとうございました。このことについて、何かご質問等ございますか。

(なし)

ないようですので次にうつります。

会長

次第5のその他ですが、何かありますか。

(なし)

ないようですので、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。

ありがとうございました。